

# 金糸ニラの育て方・栽培方法 マニュアル



サカタのタネの記述に大きく依存しています。

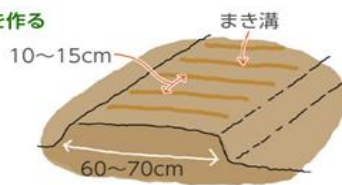
合資会社グリニッシュ

作成者	阿部千瑛
作成日	2022/7/6
更新日	

## 1.タネまき・育苗管理

1-1.

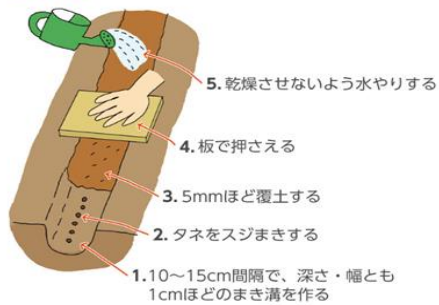
### 1. 苗床を作る



タネまきは露地に作った苗床に、深さ・幅とも1cmほどのまき溝（溝の間隔は10~15cm）を作り、タネをスジまきします。

1-2.

### 2. タネまき



そして、5mmほど覆土して板で押さえ、水やりします。

1-3.

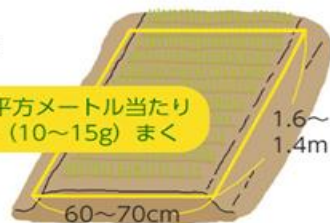
### 3. 発芽 タネまき後10~14日

1-4.

### 5. 追肥する

タネまき後  
30日と60日の2回

化成肥料を1平方メートル当たり  
2~3つまみ (10~15g) まく



タネまき後30日、60日になったら追肥します。

1-5

### 6. 定植適期苗

タネまき後80~90日

葉数4~5枚、草丈25cmほど  
分けつ2~3本



## 1.タネまき・育苗管理

1-6.

### **〈POINT〉発芽まで乾燥させない！**

発芽まで10～14日かかります。追肥量は化成肥料を1回1平方メートル当たり2～3つまみ(10～15g)とします。育苗期間は80～90日です。定植適期苗は分けつ2～3本、葉数4～5枚、草丈25cmほどです。

## 2.畑の準備と定植

2-1.

### 1. 定植の2週間以上前

1. 苦土石灰を1平方メートル当たり3握り(約150g)まく
2. よく耕す



定植の2週間以上前に苦土石灰を施用して耕します。

2-2.

### 2. 1週間前

1. 堆肥を1平方メートル当たり約3kgまく
2. 化成肥料を1平方メートル当たり3握り(約150g)まく
3. よく耕す

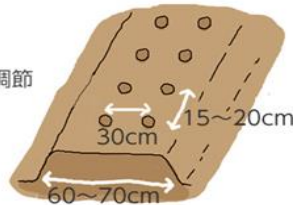


1週間前に堆肥と化成肥料を施して耕し、定植畝を作ります。

2-3.

### 3. 畝作り

高さは排水のよし悪しで調節



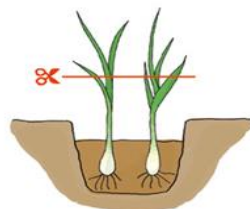
畝は幅60~70cmとし、株間15~20cm、条間30cmの2条植えとします。

2-4.

### 4. 定植

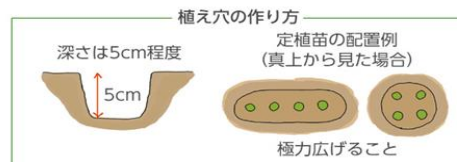
葉は半分に切ってから植える

覆土は浅めに行う



苗がお互いに触れない程度に離す

定植は深さ5cmほどの植え穴を作り、1穴に4~5本まとめて植えます。



2-5

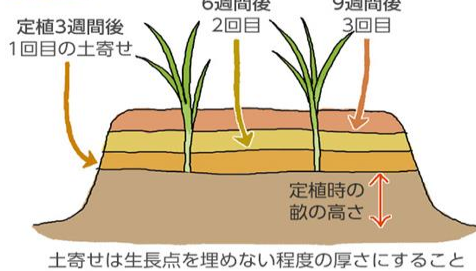
**<POINT> 酸性土壌に弱いので苦土石灰散布を！**

苦土石灰は1平方メートル当たり3握り(約150g)、堆肥は約3kg、化成肥料(N:P:K=8:8:8)は3握り(約150g)とします。

### 3.定植後～収穫までの栽培管理

3-1.

● 土寄せ

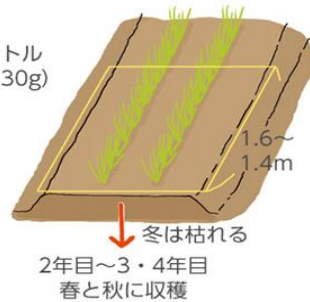


定植後3週間ごとに土寄せ(2~3cm厚さ)を2~3回します。

3-2.

● 追肥 (9月頃)

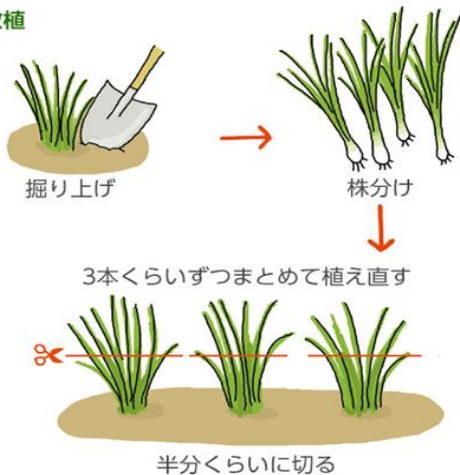
化成肥料を1平方メートル  
当たり軽く1握り(約30g)  
まく



春まきの定植年の9月頃に追肥して株の充実を図ります。冬に地上部は枯れますが、春になると萌芽してきます。2年目からの追肥は収穫ごとに行い、株の消耗を防ぎます。

3-3.

● 改植



3~4年たったら春か秋に掘り上げ、株分けして3本くらいずつまとめて植え直します。

3-5

**〈POINT〉株が込んできたら早めに改植を！**

土寄せしないと分けつが多すぎるようになり、倒れやすくなります。追肥量は1回軽く1握り(約30g)とします。追肥後、水やりすると肥料の効きがよくなります。株が古く、込んできると、葉も細く、薄く

## 4.病虫害

4-1.

● さび病



● 白斑葉枯病



病気はさび病、乾腐病、白斑葉枯病などが発生しますので、早期防除に努めます。害虫ではアブラムシが最も被害が大きくなりやすいので、早期発見に努め、早めに薬剤散布しましょう。

4-2.

### **〈POINT〉早期発見・早期防除！**

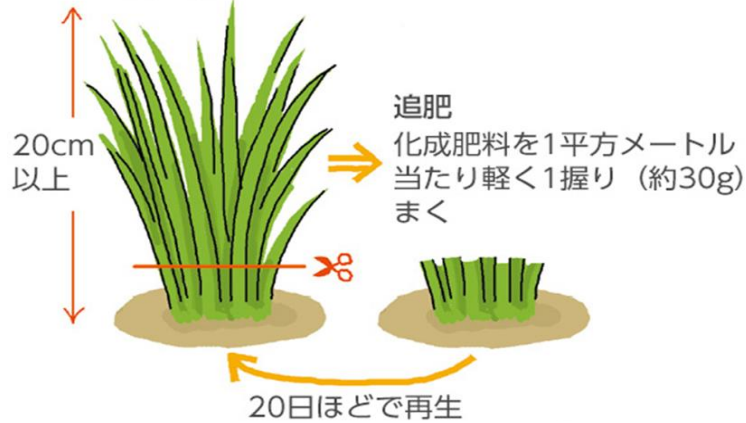
施肥量が多すぎると、葉が茂りすぎて風通しが悪くなり、病虫害が発生しやすくなります。アブラムシの防除では、定植用の植え穴に殺虫剤を入れ、土と混ぜるとよいでしょう。

## 5.収穫

5-1.

### ● 収穫（春と秋）

ハサミで刈り取る

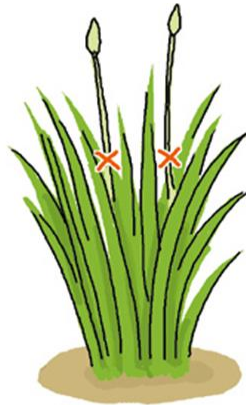


タネまき後2年目になり、葉が20cm以上に伸びてきたら、株元を3cmほど残して収穫します。

5-2.

### ● トウ立ち（夏）

切り取って  
炒め物などに利用する



夏になるとトウ立ちしてくるので、蕾が開く前に摘みとり、炒め物などに利用します。収穫は年に4～5回を目安とします。

5-3.

### **〈POINT〉 収穫したら追肥する！**

ハサミで収穫するとよいでしょう。収穫から次の収穫までの日数は20日前後になります。収穫物が不必要でも株を消耗させないように刈り取ります（捨て刈りと言います）

## 6. 金糸ニラの栽培方法

6-1.

太陽光パネルを搭載した金糸ニラハウスの中で金糸ニラは生長します。



6-2.

遮光してから1ヶ月ほどたった頃が収穫の目安です。よく晴れた日に収穫をしてください。軟化した黄ニラは手で丁寧に引き抜いて輪ゴムでくくります。さっと水洗いして土を落としたり、日光がよく当たるお昼ごろに天日干しにしていけます。3時間ほど直射日光の当たる場所で陽に当てると、より黄色が鮮やかになりますよ。反対に弱い日光に長時間当てると緑色へどんどん変化していくので気をつけてください。